

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和3年度第1回野外体験教室運営協議会				
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445(直通)				
開催日時		令和3年8月16日(月)～8月31日(火)				
出席者	委員	11人(別紙のとおり)				
	その他	無				
	事務局	6人(渡邊所長 他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
会議次第		<p>1 開 会 (書面会議のため省略)</p> <p>2 令和3年度協議会委員について(委嘱状交付)</p> <p>3 会長及び副会長の選出 全員から事務局一任との意見から、 会長を 福井智紀氏 副会長を 松石藤夫氏 をお願いしました。 選任理由： 福井氏におかれましては、長年、本運営協議会の会長として、 ご尽力いただいていることから、会長職をお願いしました。 松石氏におかれましては、地域関係者の選出区分であり、長年、 若あゆ及びやませみの活動協力者といたしまして、ご協力 いただいていることから、副会長職をお願いしました。</p> <p>4 議題 (1) 令和2年度事業報告等について ア 施設の概要について イ 利用状況について ウ 活動状況について エ アンケート結果について (2) 令和3年度事業計画等について ア 運営方針について イ 利用計画について ウ 主催事業、地域連携、他課との連携計画について エ 新型コロナウイルス感染防止対策について オ 委員からの意見等に対する実施状況について(前回分) (3) 相模原市立野外体験教室条例施行規則の一部改正について</p> <p>5 閉 会 (書面会議のため省略)</p>				

審 議 経 過

(協議を書面会議で行った理由)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各委員に了解を求め、書面により意見を提出していただくことにより会議を開催することとしたもの。

4の議題については、委員等からの意見に対して、事務局から回答を行った。

内容につきましては、別紙「令和3年度 第1回野外体験教室運営協議会(書面会議)における委員等からの意見について」のとおりです。

以 上

令和3年度 野外体験教室運営協議会委員名簿（敬省略）

区 分	氏 名	職 名
学識経験者	福 井 智 紀	麻布大学 准教授
小中学校関係者	大 貫 努	当麻田小学校 校長
	平 野 知 彦	大野北中学校 校長
青少年団体関係者	福 田 豊	市子ども会育成連絡協議会 副会長
	藤 井 朱 起	ボーイスカウト相模原第5団
体験教室 活動協力者等	笹 野 茂	下大島地区ふれあい農業組合 監事
	佐 藤 輝 美	活動協力者
地域関係者	大 貫 君 夫	大島観光協会 理事
	松 石 藤 夫	活動協力者
公募による委員	鈴 木 洋 子	
	瀬 間 一 美	

事務局	渡 邊 直 展	相模川自然の村野外体験教室 所長
	石 長 出	相模川自然の村野外体験教室 担当課長
	福 井 智 之	ふるさと自然体験教室 所長
	島 田 隆	相模川自然の村野外体験教室 総括副主幹
	守 屋 涉	相模川自然の村野外体験教室 主査
	石 堂 琢 己	ふるさと自然体験教室 主査

令和3年度 第1回野外体験教室運営協議会（書面会議）における
委員等からの意見について

No	委員意見等	事務局の考え
1	<p>今後も今回の新型コロナ禍と同様の事態が起こる可能性があるため、ポスト・コロナを意識した新プログラムや従来版のアレンジなども少しずつ検討していく時期かもしれないと感じています。</p> <p>市内児童にタブレット・ICT端末が行きわたりました。施設での直接体験は重視しつつ、事前・事後の学習や交流で活用できる可能性があるかもしれません。</p> <p>参加者した家庭から持参する荷物が多くて大変だった（重かった）という意見を聞きました、止むを得ない部分ではありますが、出来る範囲でなるべく減量化できるよう、各学校にお願いしてはいかがでしょうか。</p>	<p>従来の活動を踏まえつつ、感染症対策を考慮した活動プログラム等を検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、コロナ禍の中、活動プログラムをアレンジした活動(個食ができる空き缶での炊飯等)を行った学校もありましたので、今後も引き続き、コロナ禍を意識しながら、進めていきたいと思えます。</p> <p>現在、教育委員会の中では、タブレットPCを活用した様々な検討を進めているところです。若あゆではタブレットPCとルーターを準備し、一部の学校とは事後学習で活用するなど、学校の要望に応じられるよう検討しているところです。</p> <p>当施設は活動だけで終わりではありませんので、事前事後の学習に活用できるよう検討を進めていきたいと思えます。</p> <p>天候や活動内容により、着替え等荷物が多くなってしまう場合があります。学校と打合せをする際、負担にならない範囲で準備する等、保護者への連絡や協力をお願いしていきます。</p>
2	<p>宿泊学習の際、子どもたちがより自主的に行動し、成功体験が増え、自尊心が高まるよう、子ども達へ事前に指導して（伝えて）おいた方がよい、ことなどを、教員へ助言していただけるとよいと感じた。</p> <p>JA 相模原市による若あゆ農業体験補助事業は、学校としては大変助かっている。今後も、より多くの子どもたちに食農体験の機会が提供できるよう、少しでも事業予算を増やしていただきたい。</p>	<p>学校との打合せの際、事前事後指導について、方法を例示するなど、より具体的に助言をしていきます。</p> <p>JA 相模原市は当事業について重要性を感じていただいているところですが、補助の増額は厳しい状況とのことです。今後、当事業の効果を積極的に発信して、補助授業のメリットが感じられるようにしていきたいと思えます。</p>

3	<p>キャリア教育、アクティブラーニングを意識した体験活動のあり方を検討していく必要がある。</p> <p>体験活動内容が小学校、中学校でほぼ同じ内容になっていないか、発達段階やこれからの社会情勢を踏まえた活動内容の検討していく必要性があると感じている。</p> <p>中学生には「防災」「SDGs」に特化した体験活動にしてはどうか。《相模原市に住んでいる子供たちに全員が中学校時代に「防災」「SDGs」について、学ぶ。市の財産になると思う。》</p>	<p>共通 体験活動プログラムについては、今の時代に則したものにするための工夫や変更が必要かと思われますことから、中学生の活動については、見直しを図っているところです。また、「防災」「SDGs」「キャリア教育」については、各視点に特化したプラン（1泊2日又は日帰りのプラン）を検討するなど、令和5年実施を目指して準備を進めております。）</p>
4	<p>資料4の学校利用アンケート結果の「(イ)前年度比較結果(全体)」の職員の指導による体験活動について、内容と職員のこどもたちへ支援がやや不満が各1.7%ありますが、どの様な事ですか。</p>	<p>食事と入浴の時間が重なり、部屋待機児童を見る教員が足りない状況が発生し、夕食時のレストランにもう少し人的支援があるとありがたいという意見がありました。</p>
5	<p>今後、コロナが終息された後には、それまでの対応の指標にされてこられたマニュアルについて、その評価と検証を文章化した資料を作成していただければでしょうか。今後の、同じ様な感染症対策とか、他の緊急事態に対応するための集団生活における危機管理の貴重な体験資料になるのではないのでしょうか。現マニュアルの今後の生かせる点、問題点などをまとめることでよいと思います。</p>	<p>コロナ対策を踏まえながら、今年度の活動を検証し、若あゆ・やませみの利用の手引きや要項、危機管理マニュアルの作成等に生かしていきたいと考えていきます。</p>
6	<p>活動写真を添付していただき、ありがとうございました。子ども達の真剣なまなざしが伝わってきました。今後、協議会時に写真や動画(可能であれば)をプロジェクターで映していただくと活動のリアルさが身近に感じると思います。</p> <p>コロナ対策で大変なご苦労されているかと存じます。本当に感謝いたします。子ども達の安心安全のため、対策をよろしく願いいたします。</p>	<p>映像や画像等で見いただくことが一番わかりやすいものと思います。今後も様々な機会において、提供できるように進めてまいります。</p>

7	<p>若あゆ・やませみへの質問ですが、小学校の体験教室ではコロナの中で宿泊をさせる事は、親としてはさせたくないのが本音です。人数に余裕があればある程度安心ですが、小学生だと友達と一緒に入れる事で、密はなかなか避けられないのではないかと思います。先生や担当の方々のご苦労もわかりますが、今は日帰りでの体験教室で良いと思います。</p>	<p>保護者の皆様の心配について懸念があることは承知しているところです。施設といたしましては、子ども達の充実した教育機会を提供できるよう、また、安全・安心に児童生徒を受け入れられるよう、様々なコロナ感染症対策を講じつつ、学校とも綿密に連絡を取りながら、日帰りなどの選択肢も提供し事業を進めているところです。今後も新型コロナウイルスの感染状況をとらえながら、受入れの方法について検討を進めていきたいと考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍の大変な状況のなか、安全面に配慮しながら、可能な教育活動を進めていただき、ありがとうございます。 ・若あゆもやませみも、学校の目当てに沿って、指導主事やスタッフが丁寧に関わってくれているおかげで、子どもたちにとって、深まりのある有意義な体験になっていることが、学校利用アンケートの結果からうかがえる。これは他市に誇れる、本市の特徴だと思う。 ・コロナ禍での体験教室の運営は今までと違い、感染対策など大変なことが多かったと思います。アンケート結果を拝見させて頂きました。直接子どもたちと関わっている先生、若あゆ職員の皆様のご苦労を感じました。コロナが一日でも早く収束することを願います。 ・昨年に続きコロナ禍での様々な対策に感服と感謝です。児童・生徒とは協力員として接していると様々な体験不足を目の当たりにします。(ミキサーの蓋をせずにスイッチON、具汁の飛び出しに大変な思いをしたり・ガスコンロの炎を扇いでいたり・両手鍋の持ち手を持たずに熱い思いをしたり、と資料の傷病記録に記されているとおりです。)改めて若あゆの体験活動の大切さを感じています。 ・資料4の学校利用アンケート結果の「(ウ)体験活動について」、「(オ)その他」の回答の中で、小学校・中学校とも、職員の方が温かく、目配りしてもらった事に感謝の気持ちをコメントしています。職員の方が熱心に対応していることが伝わりました。ありがとうございます。 ・資料2において、令和2年度の利用状況で青少年団体の利用実績がゼロであり、新型コロナウイルス感染症防止のためと思います。私も竹とんぼ作りを教えています。1日も早くコロナが収束し活動できることを願っています。 ・コロナ感染症防止対策につきましては、多くの未知の困難に対応してこられたスタッフの方のご苦労に感謝します。このまま収束に向かうことを願います。 		